

## ユニバーサル志縁社会創造センター

### 2013年度事業報告

<当センターの事業内容>

#### **1. 社会的経済セクターの協働**（地域に根差した政策づくりや具体的参加の促進）

##### **1) NPOの基盤強化（中間支援NPOへのノウハウ・情報の提供）**

###### **①情報発信の強化**

ユニバーサルな志縁社会を推進する先駆的事例をホームページ、メールマガジン、インターネット中継などを活用し、全国の中間支援NPOを中心に発信することを計画。メールマガジンとホームページの更新は実施できたが、インターネット中継については、未実施で、引き続き検討を行う。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：

- ・ホームページ随時更新。
- ・メールマガジン月1回発行。
- ・インターネット中継隔月1回開催。

活動報告：

- ・ホームページは新規情報があり次第随時更新。
- ・メールマガジン発行も随時実施。
- ・インターネット中継は未実施。NPO部会での議論を待って実施。
- ・NPO活動の情報発信の機会としてNPO事業サポートセンターから継続しNPOまつりの実施に参画。NPOまつりは岩手のNPOと連携して開催しました。



## ②支援ツールの提供による機能強化

NPO 事業サポートセンターからの事業移管を受け、専門家派遣や NPO 支援ツールの販売等を継続して行う。

ア. 専門家による起業・運営相談（会計・税務）

自治体からの委託。

イ. 支援ツールの普及（NPO活動保険、会計ソフトウェア等の販売）

NPO 活動保険の紹介、N-books 販売代行、会計日誌等ツールの販売、チャリティ自販機の設置。

ウ. NPO 支援東京会議の事務局運営

会計士、税理士等の専門家ネットワークの事務局。

エ. 西武街づくり活動助成金における団体の推薦

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：専門家派遣先を5団体に拡大する。各種支援ツールの売り上げを2倍にする。

活動報告：

- ・専門家による起業・運営相談：JICAによる専門家派遣事業が中間支援団体を入れず直接専門家と契約することとなり終了。
- ・NPO活動保険：16団体
- ・会計ソフトウェア N-books：紹介のみ実施
- ・会計日誌：766冊（2014年3月18日現在）
- ・チャリティ自販機：  
趣旨に賛同していただき、各団体から売り上げの5%を寄付していただき、伊藤園からは1%寄付していただく。合計6%のうち3%を市民協に配分し、残りを当団体に寄付。被災地支援活動などに活用。本年度生活科学運営様の事業所に設置が確定。

### 【設置協力団体】

ラポール三ツ沢

ラポール藤沢

ラポール西寺尾

まごころケアサービス高湯センター

まごころケアサービス福島センター

三菱地所レジデンス(株)本社

三菱地所ハウスネット(株)本社

NPO 法人たすけあい組織鼓楼

NPO法人G-net

市民協・いしのまきハウス

・NPO 支援東京会議の事務局運営：

**【NPO 会計・決算相談会】**

■日時 2013 年 4 月 25 日（木） 13：30～（下記ご希望の時間帯で、1 時間程度）

I.13:30～ II.15:00～ III.16:30～

■会場 三田いきいきプラザ 2 階 集会室 A

参加団体は 6 団体

**【NPO 法人会計基準勉強会】**

■日時 2013 年 4 月 25 日（木） 18：30 から 20：30

■場所 三田いきいきプラザ 2 階 集会室 A

■講師 佐藤充宏さん（税理士）

参加者は 17 名

**【NPO 会計講座～実務編～】**

■日時 2013 年 7 月 25 日（木） 午後 6：30～8：00

■場所 イングビル 3 階 第 3,4 会議室

■講師 岡田 純 氏（税理士・NPO 支援東京会議）

（主催：西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ 協力：NPO 支援東京会議）

参加は 8 団体 10 名

**【NPO 会計基準セミナー（専門家向け）】**

■日時 2013 年 9 月 18 日（水） 18：30 から 20：30

■場所 千代田区一番町集会室 洋室 A

■講師 加藤俊也さん（公認会計士、NPO 支援東京会議所属）

参加者は 20 名

**【定例セミナー「日本政策金融公庫国民生活事業（旧こっきん）の NPO 向け融資について」】**

■日時 2013 年 10 月 16 日（水） 18：30 から 20：30

■場所 麴町区民館 洋室 C

■講師 井上 和則さん（日本政策金融公庫五反田支店）

参加者は 14 名（申し込みは 19 名、台風の影響でキャンセル続出）

**【認定 NPO 法人の申請実務（認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワークの認定申請と更新実務の経験をもとにして）】**

■日時 2013 年 11 月 25 日（月） 18：30 から 20：30

■場所 千代田区麴町区民館 洋室 C

■講師 脇坂誠也さん（税理士、NPO 支援東京会議所属）

参加者は 10 名

**【弁護士に聞く、NPO の法務について】**

■日時 2014 年 1 月 29 日（水） 18：30 から 20：30

■場所 千代田区麴町区民館 洋室 C

■講師 弁護士 樽本哲さんほか、NPO のための志的勉強会のメンバー

・西武街づくり活動助成金：

**【申請団体】**

NPO 法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

NPO 法人 サポートハウスじよむ

NPO 法人 笑顔せたがや

公益社団法人 日本産業退職者協会

一般社団法人 Kid's Garden

**【助成金贈呈先】**

NPO 法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

NPO 法人 サポートハウスじよむ

NPO 法人 笑顔せたがや

の3団体に決定。

**③人材育成**

ソーシャルプロデュース活動に取り組むセクターを超えた人材のリーダー研修。当センターに集う理事・関連団体の人脈を駆使して、有識者による社会的事業のリーダー研修を開催する。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：隔月1回

活動報告：

・コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップ イン ジャパン開催

12月中旬にハーバード大学ケネディスクールでリーダーシッププログラム（コミュニティオーガナイズング）を教えるマーシャルガンツを招いてワークショップ、講演・シンポジウムを実施。

**【ワークショップ】**

■日時 2013年12月13日から15日（2日半）

■対象者：NPOリーダー、社会起業家、地方行政 47名

■会場：グロービス経営大学院





### 【講演・シンポジウム】

12月11日 連帯社会シンポジウム（連合大学院附属研究交流センター準備室）

12月12日 知の創造（グロービス経営大学院）、G-Sec Faculty Seminar（慶應義塾大学）

12月16日 日本元気塾セミナー（アカデミーヒルズ）



### 【メディア】

- ・NHK クローズアップ現代
- ・講談社 現代ビジネス
- ・オルタナ
- ・ハフィントンポスト
- ・J-WAVE 等多数

## 2) ユニバーサル志縁社会を推進するための調査、研究、政策提案

### ①社会的経済セクター推進研究会（仮）の開催

NPO法人、協同組合、労働組合、社会福祉法人などが社会的経済セクターとして共通の課題を整理し、政府に対して提言するアジェンダを設定する会議体を設け、議連などの立ち上げも視野に入れる。更に各セクターの優良な取り組みを表彰する事業も実施。今年度はまた市民活動の組織化手法を開発したハーバード大学ガンツ博士を12月に招へいしワークショップを開催。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：会議 年3回開催、表彰 年1回実施

活動報告：

- ・本年度は社会的経済セクター推進研究会の開催、表彰の実施しなかった。
- ・ワークショップについては、12月にマーシャルガンツ博士が来日しワークショップと講演・シンポジウムを実施。

## ②SROI、SRI、「思いやり経営モデル」等の研究

企業の社会的活動の評価指標である SROI (social return on investment=社会的投資収益率)、SRI (socially responsible investment=社会的責任投資)、「思いやり経営モデル」等を研究する研究会を開催。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：年3回研究会を開催

活動報告：

- ・他団体の事業において SROI を用いたユニバーサル就労の評価が実施されており、本団体としては研究会は未着手。

## 2. ユニバーサルな地域社会づくり支援

(誰一人として孤立しない・させない地域社会づくり)

### 1) 志縁をつなぐ文化祭

(アーティストと連携し文化芸術活動を通じて、地域のつながりをつくり、イベント開催して地域の NPO 活動を支援)

#### ①ぬちゆいトークライブの実施

震災直後から精力的に被災地へ支援活動を行ってきた会長・加藤登紀子が被災地での経験をもとに作成した楽曲「命結～ぬちゆい～」。昨年度よりこの楽曲をより多くの人たちに聞いてもらうことで地域を元気づけていくことはできないか検討を開始。「私の未来、私たちの明日、地域コミュニティの次の時代を切り開き、人と人、人と自然の活力を取りもどすためのイベント」として「加藤登紀子 命結～ぬちゆい～トークライブ」を企画。昨年度は5か所で開催し、今年度は理事・関連団体と連携し最大5か所でのイベント開催を予定。活動を通じてユニバーサルな社会づくりの意義も伝えていく。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：年5回ぬちゆいトークライブを開催

活動報告：

- ・今年度は8月に千葉県で開催した1回のみ。目標は達成できなかった。現在確定しているのは2014年5月17日に佐賀県で実施。2月中旬にチケット販売開始。

## 2) 「地域における助け合い事業」支援

「助けて!!」といえる関係づくりの第一歩として、誰でもどこでも気楽に始められる「人と人、人と社会をつなぐ居場所づくり支援」を行う。

① センターが開発した「地域支え合いツール」を活用し、地方でのワークショップを4回実施予定。

- ・地域支え合いツール（地域共生・協働プロデュースマニュアル）の普及
- ・地域づくりコーディネーター（仮称）等人材育成事業

②全国の「居場所」づくりを目指す方々の要請に応じて、アドバイザーを派遣する。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：年4回実施

活動報告：

・“居場所と出番”のきっかけづくりセミナー生涯現役に向けた仕事づくり・居場所づくり連続セミナー実施

10月 1日（火）13：30～16：30 自分を見つめなおし、お互いを知る

10月 8日（火）13：30～16：30 事例から学ぶ

10月 15日（火）13：30～16：30 芝の家や、全国のコミュニティカフェ（居場所）の情報などから学ぶ

10月 22日（火）13：30～16：30 グループワークで、仮想アクションプランを作成



10月8日に講師を務めた牧野史子理事と奈良前事務局長（支え合いの仕組みづくりアドバイザー）

## 3) 地域循環型企業資金拠出システム（プロジェクトファイナンス）の普及

NPOバンク等と連携し、地域で事業を興す際のファンドレイジングのノウハウの提供。ぬちゆいトークライブにファンドレイジングの機能があることを踏まえ今年度はぬちゆいトークライブの事業強化に専念する。

### 3. ユニバーサルなはたらく場づくり支援

(身体的、精神的、社会的理由によって働きにくさを抱えている人とも一緒に、誰にとっても働きやすい職場づくり)

#### 1) ユニバーサル就労システムの推進に向けたノウハウの提供

「ユニバーサル就労」に取り組む企業団体を増やすために普及活動を実施し、具体的に導入を検討する企業団体向けにユニバーサル就労コーディネーター養成研修を実施していく。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：ユニバーサル就労コーディネーター養成研修を5回開催

活動報告：厚生労働省社会福祉事業を生活クラブ風の村が受託し、委員会に池本が参加。また事業におけるユニバーサル就労で働くコミューター34名とその職場担当者にヒアリング調査を実施。林、池本、小山田が担当。

#### 2) ユニバーサル農業の推進

ユニバーサル農業の可能性を広げ、理解を深めるためにフォーラム（シンポジウム）を開催。またユニバーサル農業をコンセプトに据えたイベントを日本全国で開催することを応援する。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：ユニバーサル農業に取り組む団体数 5団体

活動報告：

- ・ユニバーサル農業ネットワークちばがユニバーサル農業フェスタを実施。
- ・認定NPO法人たすけあい佐賀でユニバーサル農業&クリーンサービスを実施

佐賀県初の「ユニバーサル農業」を佐賀市内の「よってこ農園」にて農家の方々と一緒に実施。「環境」「食」「農」をテーマに“農地の利活用”や“障がい者の就労の場”としての農業を地道に行っている。作物は全て無農薬栽培。また、ご相談に応じて、掃除・草むしり、簡単な修繕作業や木工作品制作などの「なんでもクリーンサービス」も実施。



(認定NPO法人たすけあい佐賀ホームページより引用)

- ・土と平和の祭典に「つながってミール」と協働で出店。



## 4. 政策提言

### 1) 政策提言プラットフォームの運営

市民キャビネットの事務局運営支援

社会的経済セクターの中核を担うNPO法人が集う政策提言のプラットフォームとして、会員数の拡大や政策の質の強化を行い、社会的なプレゼンスの向上を図る。本法人が取り組むユニバーサル就労やユニバーサル農業の制度化なども検討する。さらに東日本大震災を受け、放射線災害がもう一度あった場合の対策・対応の提言も検討する。本年度はモデル的に地域会議を開催し、地域の課題をベースに政策をつくり、国の制度改善の要求を行う地域を設定し、活動をPRしていく。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：3カ所での地域会議の開催、政策フォーラムの開催。

活動報告：

- ・NPO 議連岸本周平議員に市民キャビネットの2013年の提言書を提出。

(政策は次のURLからダウンロードできます。 <http://goo.gl/JDYld> )

## 5. 東日本大震災復興活動支援

(NPO・市民団体等が取り組む東日本大震災復興活動を支援)

### 1) 東日本大震災復興支援活動についての意見交換の場の設定

理事、会員の皆様と一緒に支援活動についての課題について意見交換をする場を設定する。また2011年から事務局運営を支援している東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト事務局も継続して行ない、企業、市民からの支援を被災地や避難先のNPOへコーディネートしていく。また東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話団体も務める。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：随時実施

活動報告：JCN世話団体として世話団体会に参加。その他は未実施。

## 2) 公民館、仮設住宅等でのコミュニティ活動支援事業

2011年5月から実施している復興支援ITボランティア派遣で構築した関係性をベースに、地域の公民館や仮設住宅等へインターネット回線等を敷設し、地域防災教育のシステムづくりやコミュニティの活性化への支援を行う。今年度は住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラムに採択され、主に、陸前高田市、大船渡市で活動を実施した。

期間：2013年7月から2014年3月

活動目標：

- ・大船渡市 永浜地区 大立仮設住宅 でのパソコンよろずサロン
- ・陸前高田市 長洞元気村 連絡網整備・ECサイト運営

活動報告：

・東日本大震災以来、IT企業と連携し、パソコン・プリンタ・及び通信機器を東北の被災地の方々に提供し、それらを復興に利活用するためのIT支援活動を実施。学生が中心となり、2011年5月から月に1度のペースでボランティアを派遣。

2013年度は、「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」の助成を受けながら活動を行なう。具体的には、仮設住宅のコミュニティ活性化のためのパソコン教室の開催や、仮設住宅の連絡網整備、現地からの情報発信サポート、ホームページや海産物を販売するサイト・復興資料のアーカイブ集等の作成など、ITというツールを軸に、地域の特性やニーズの変化に応じながら、継続的な支援を目指して活動。

HP: [http://u-shien.jp/it\\_volunteer/](http://u-shien.jp/it_volunteer/)

- ・3月29日に報告会を実施。別紙参照。
- ・来年度も継続して住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラムに採択された。